



飯野 Iino Elementary School News 小学校だより

2020（令和2）年

12月23日

No.28

校長 原 裕

■ 2学期 終業式を終えました

8月24日から始まった今年度の2学期。子どもたちは、いつもより長い2学期を日々よくがんばりました。また、日々の検温など、体調管理に気をつけてきたおかげで、インフルエンザや風邪などの流行がないことや、大きな事故などが発生しなかったことは、子どもたちを送り出してくださったご家庭の皆様、見守りをしていただいた地域の皆様のお陰です。幾多のご協力に感謝いたします。

■ 令和2年度 鈴鹿市子ども会議に6年生代表が参加しました

12日、鈴鹿市役所で「鈴鹿市子ども会議」が開かれました。市内の小中学校20校の代表が集まり、「環境、教育、福祉、防犯、防災、観光、交通」をテーマに、子どもたちが市への提案を行いました。飯野小からは、6年生の代表が「鈴鹿のいろんな人が安心してらせる防犯作り」について提案をしました。市長は、しっかり考えられた提案について、市として今後検討していくことが話されました。



「鈴鹿のいろんな人が安心してらせる防犯作り」飯野小学校 6年 O.E

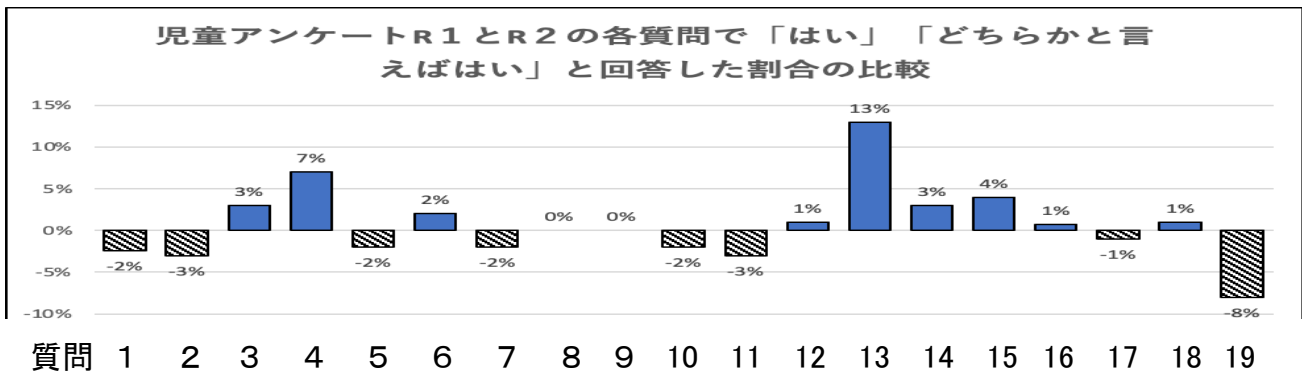
ぼくは、「鈴鹿のいろんな人が安心してらせる防犯作り」について提案します。調べたいと思った理由は、鈴鹿の人が安心してらしているのか気になったからです。そこで、飯野小学校6年生に「鈴鹿市内における防犯意識」についてアンケートを取りました。半分位の方は「治安が良い」と答えていましたが、一部の人は「そう思わない」という意見がありました。「治安が良いと思わない」理由には、「近くで事故や犯罪があったと聞いたから」や「ニュースで鈴鹿と言っていた」などがありました。

次に、「日ごろから、どのような防犯対策に取り組んでいるか」をたずねたら、「明るい時間に帰るようにしている」、「知らない電話番号には出ない」、「ドアを開けると風鈴が鳴るようにしている」などがありました。ぼくの家では、カギの2重ロックや、留守番をしているときは、インターフォンには出ないなどの防犯対策をしています。

また、「安心な町づくりを実現するためにどのような取り組みがあればよいか」についての質問には、「夜になった時に暗くなる道を減らすために、街灯を増やして欲しい」という意見がありました。そこで、家の近くを自分で歩いてみて、実際に危ないと感じた場所を探してみました。家から学校まで12か所くらいありました。暗い道で、街灯がない所はやはり危ないと感じました。暗い道に、少しでも街灯があればよいと思いました。

それから、安心して過ごすために、自分たちにもできることはあると思います。たとえば、下校中はみんななるべく固まって行動すれば、見知らぬ人に声をかけられないと思いました。また、ふだんからホイッスルや防犯ブザーを身につけていたら、いざという時に助けてもらえると思います。近所の人にあいさつをして、顔見知りになったら困った時に助けてもらえると思います。このように、いろんな人が安心して暮らせるための防犯作りについては、まだまだいっぱいアイデアがあると思います。ぼくは、クラスの子や家族と話をし、犯罪をさせない、犯罪の起こらない町にしていきたいと思います。そして、鈴鹿市でも様々な取組を具体的に、市民全員に分るように発信してもらえると嬉しいです。

■ 飯野小学校2020年度「児童アンケート」の結果から ③



同じ質問内容で、昨年度の12月アンケート結果と、今年度のものを比べて、特に昨年度より増えて改善されたところ、反対に減って課題となるところをまとめました。

【○改善】13「あなたにはよいところがありますか」

4「自分の思ったことや考えたことを進んで発表していますか」

【▲課題】19「あなたは、テレビゲームやスマホの時間を決めていますか」

■ 「保護者アンケート」から

保護者の皆さんから頂いたご意見、ご要望に対しては今後検討していきます。頂いたご要望の中から現状を踏まえ、何点かお答えします。

◎「授業参観を行なって欲しい」というご要望に対して

このことについては、以前から検討をしています。子どもの安全を第一で考えると、現在のコロナ感染状況下において、飯野小規模の学校においては、校内で密を避けられないことや、手指消毒、検温の徹底も難しいことから、当面保護者の授業参観は難しいと判断しています。

◎「荒天時(雷など)における登下校の安全対策について

きずなネット(メール配信)で、安全確保のために時間の変更をお知らせしたり、自宅や学校待機などをお願いしたりする場合があります。緊急を要する場合は多いので、その都度、子どもたちの安全を最優先し、ご家庭や地区委員さんのご協力もいただきながら、判断をしていきます。

◎「3年生以上の学年も少人数クラスを実現して欲しい」というご意見に対して

現在、法律で、小学校と中学校の1クラスあたりの定員は、小学1年生が35人以下、小学校2年生から中学校3年生までは40人以下と定められています。そのため飯野小の1年生は現在4クラスです。現在の2年生の場合は、三重県独自に平成16年度より、少人数教育を進めるための対応として、国の基準では3クラスのところを4クラスにして、運営できています。

以前より、3年生以上の学年も少人数学級の導入が必要との強い要望は、保護者からも学校からもあり、学校管理職、教職員、PTA等を通じて、国に働きかけてきた経緯があります。

そのような中、来年度から令和7年度までの5年間かけて、1クラスの定員を40人以下から35人以下に引き下げる方向で国が調整している段階というニュースが入ってきました。今後も少人数クラスの要望は、国に対応を求めている重要な内容と考えています。